

Next Stage

生徒・保護者用 iPad使用ガイドブック



銀河学院中・高等学校

Ginga Gakuin Junior and Senior High School

目次

はじめに	・ ・ ・ 1
目的と活用	
目的	・ ・ ・ 16
活用シーン	・ ・ ・ 18
主なアプリ	・ ・ ・ 21
主な設定	・ ・ ・ 25
基本的なリテラシー	・ ・ ・ 32
iPad使用のルール	・ ・ ・ 34
iPadの配付とオリエンテーション	・ ・ ・ 38



はじめに

はじめに

まもなく訪れる「Society5.0」

人類はこれまで、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）へと社会を発展させてきました。

そして今、第5の新たな社会「Society5.0」が訪れると言われています。

はじめに

「Society5.0」とは

「モノのインターネット(=IoT)」が進み、あらゆるものがインターネットとつながり、人間の能力では処理が追いつかないほど膨大な量の情報を入手することができます。

膨大な情報は、AI(人工知能)により解釈・加工され、社会を支える道具として人間に届けられるものとなります。

はじめに

「Society5.0」とは

AIは急激に高度化が進んでおり、近い将来、ある程度形の定まった業務や数値的に表現可能な業務は、人間の代わりにAIが担うことになると考えられます。

このような技術の発展は複雑に影響し合い、社会のあらゆる部分に、私たちの予測を超えた劇的な変化を引き起こすと言われています。

はじめに

「Society5.0」における人間のあり方

予測困難な社会変化の中で豊かに生きるためには、変化にとまどいながら受け身をとるよりも、むしろ積極的に目指すべき社会像を描き、共有し、実現していくことが重要です。

AIやデータの価値を正しく認識し、その力を活用することで、人間は自らの強みを伸ばし、弱点を補いながら、可能性を広げていくことができます。

はじめに

「Society5.0」における人間のあり方

人間の強みとは何でしょうか。それは、現実の世界を理解し、そこに意味付けができることです。少なくとも現在のAIは、情報が持つ意味や価値を理解できません。AIに目的や倫理観を与えるのは人間の役割です。

はじめに

「Society5.0」における人間のあり方

また、様々な人やモノ、情報が複雑に関係し合っていく中で、板挟みと向き合って調整することや、想定外の事態に柔軟に対処すること、異なる立場の存在を理解すること、自らがどう行動すべきか考え責任を持って対応することは、人間の仕事の中でますます重要になると言われています。

はじめに

「Society5.0」において求められる人材

人間の強みを生かして新たな社会をリードするためには、情報技術に長けることよりも、機械にできることは機械に任せ、逆に「より人間らしい力」を身につけることが重要とされています。

はじめに

「Society5.0」において求められる人材

身につけるべき「より人間らしい力」について、次の3つが挙げられています。

「文章や情報を正確に読み解き対話する力」

「科学的に思考・吟味し活用する力」

「価値を見つけ生み出す感性と力，好奇心・探求力」

はじめに

「Society5.0」において求められる人材

また、新たな社会をリードする人材は、
「技術革新や価値創造の源となる知識を発見・創造する人材」
「技術革新と社会課題をつなげ、社会の基盤となるモノやサービスを創造する人材」
「様々な分野においてAIやデータの力を最大限活用し展開できる人材」とされています。

はじめに

「Society5.0」において求められる人材

多様な分野をつなげる力, 新たな物事にチャレンジする力, 多くの人々と関わり協働する社会的スキルや指導力, また真理や美を追求する発想力, そして他者を思いやり, 多様性を尊重し, 持続可能な社会を志向する倫理観・価値観など, 様々な「人間らしい力」が一層重要となっていくと言われているのです。

はじめに

「Society5.0」に向けた学びとICT

iPadをはじめとするICTは、何よりもまず「多種多様な情報を収集し、分析するためのツール」となります。そこには、「社会の課題とつなげて情報の価値を吟味し、解決策を創出する経験としての学び」が生まれます。

また、ICTの持つ「多様な人とつながり対話する機能」は、「他者理解をすすめ、多様性の尊重にもとづき協働して新たな価値を生み出す経験としての学び」を実現します。

はじめに

「Society5.0」に向けた学びとICT

そして、「創作・表現するツール」としてのICTを活用することにより、「自らの価値観・倫理観を見つめながら、自己の発想や主張を形にして伝える経験としての学び」をつくりだします。

もちろん、これらの学びはすでに完成されたプログラムとして存在しているものではなく、日本全体としても、まだまだ始まったばかりの冒険です。

はじめに

「Society5.0」に向けた学びとICT

私たちも、試行錯誤しながらのチャレンジとなるでしょう。しかし、「失敗にくじけないこと、励まし合い補い合って共に前進すること」、これ自体が新たな社会における人間像そのものと信じ、取り組んでいきます。
共に次のステージへ。



目的と活用

目的

学びの質を変える

深める

ICT + Deep learning

自ら問いを設定し、情報を集め分析して、自分なりの解決策を導き出します。

創る

ICT + Creativity

想像を形にして自分ならではの作品を創造します。

伝える

ICT + Communication

対話により考えを伝え合い、練り上げます。
他者に正しく伝わる表現力を育てます。

目的

学びの姿を変える

教材のデータ化を進めます。

プリントを折り，切り，並べ，貼り，提出し・・・このような作業に費やす時間が消えていきます。

全教科のノート・資料がiPad1台に整頓されて収まります。

手元で動画や画像を自在に見ることができ，資料に直接書き込むこともできます。知識により鮮やかなイメージが加わります。

活用シーン

(1) 教科授業で

- ★iPadに配信された授業プリントや資料にタッチペンで書き込み
- ★思考・発想をiPad上に文章・画像・動画などで表現し発表
- ★インターネットを使って情報収集し、探究的学習
- ★iPad内のホワイトボードをグループで共有し協働学習
- ★撮影した活動の動画を見ながら振り返り・分析

活用シーン

(2) 授業時間以外での学習で

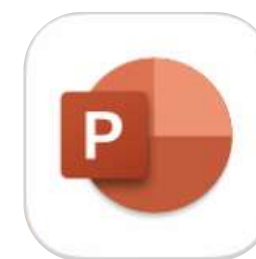
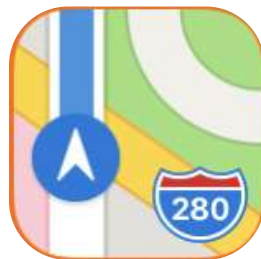
- ★朝テストでのiPad活用
- ★アダプティブラーニング(自分に最適化された学習)ツール
- ★総合的な学習(探究)の時間での調査・研究
- ★宿題の配信と提出に活用
- ★オンラインメッセージにより家庭学習中に教員に質問
- ★遠隔授業での活用

活用シーン

(3) 授業以外の活動で

- ★生徒会活動での活用（例：委員会ポスター作成）
- ★部活動での活用（例：フォーム確認，試合振り返り，練習日誌）
- ★学級・学年単位の特別活動での活用（例：班・学級での討議）
- ★行事での活用（例：事前準備，事後まとめ）

主なアプリ



主なアプリ

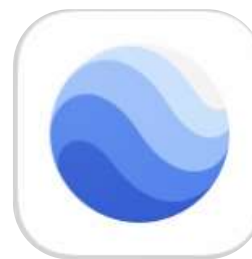
Webサイト閲覧, 検索, 情報収集



Safari
(サファリ)



地図



Google Earth
(グーグルアース)

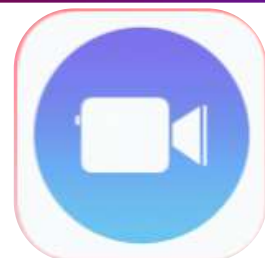
画像・動画撮影, 加工, 制作



カメラ



iMovie
(アイムービー)



Clips
(クリップス)



GarageBand
(ガレージバンド)

主なアプリ

文書・資料作成, 発表



Word
(ワード)



Excel
(エクセル)



PowerPoint
(パワーポイント)



Pages
(ページズ)



Numbers
(ナンバーズ)



Keynote
(キーノート)

データ保存



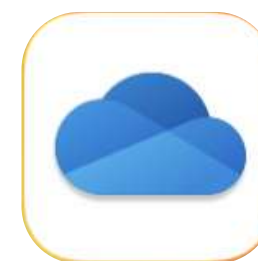
写真



フォルダ



iCloud
(アイクラウド)



OneDrive
(ワンドライブ)

主なアプリ

ノート, メモ, 授業支援, 遠隔授業



OneNote
(ワンノート)



Teams
(チームズ)



Classi
(クラッシー)



Classi
授業動画



メモ



ボイスメモ

その他, 各教科で必要なアプリを適宜インストールします。



主な設定

主な設定

このiPadは、高校卒業まで使用します。

iPad（第7世代） 32GB Wi-Fi + Cellularモデル

サイズ	高さ	250.6mm
	幅	174.1mm
	厚さ	7.5mm
質量		483g
ディスプレイ	サイズ	10.2インチ
容量		32GB



主な設定

このiPadは、Wi-Fi + セルラータイプです。
Wi-Fi環境のない場所でも、携帯電話の電波
を使ってオンラインで使用できます。

通信量 3 GB/月



主な設定

最も重要な安全・安心を守ります

このiPadは、MDM（モバイルデバイス管理）ソフトにより、適切に管理されます。



主な設定

最も重要な安全・安心を守ります

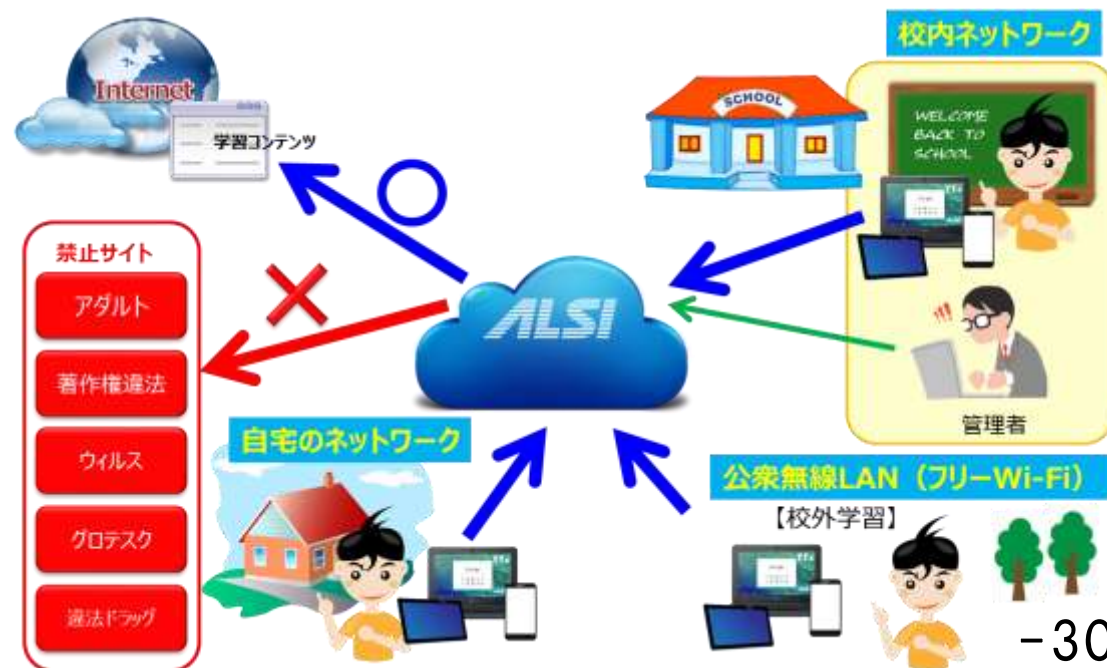
MDM(モバイルデバイス管理)の主な内容

- ★必要なアプリは学校から配信します。
- ★SNSやメールは利用できません。
- ★アプリのダウンロードやWebストアでの購入はできません。
- ★Youtube等, インターネット上の主な動画は視聴できません。
- ★SiriやAirDrop等一部の機能が制限されています。
- ★深夜0時～朝5時の時間帯はWebサイト閲覧ができません。

主な設定

最も重要な安全・安心を守ります

Webフィルタリングにより不適切なWebページへのアクセスを防止し、安全安心なインターネット利用を保障します。



主な設定

最も重要な安全・安心を守ります

故障/紛失時

- ①故障/紛失報告書に記入，提出が必要です。
- ②紛失機は操作ロックまたは初期化し，個人情報を守ります。
※紛失機の電源がONで，電波通信可能な状態であることが必要です。
- ③通常，1週間以内に交換機が届きます。
- ④交換機が届くまでの間は，予備機を使用できます。

※交換は無償です。ただし，紛失時にはUIMカード再発行料金2,000円がかかります。



基本的なリテラシー

（活用のための適切な知識・理解）

基本的なリテラシー

- ①iPadは学習活動のための道具です。
- ②学びの可能性を広げるための使い方をします。
- ③誰かが嫌な思いをする使い方は絶対にしません。
- ④事故の危険や周囲への迷惑がない状況で使います。
- ⑤破損や紛失のないよう大切に使います。
- ⑥皆でより良い使い方を考え、共に向上します。



iPad使用のルール

iPad使用のルール

①他人の写真や動画，本人が映っていないなくても個人が特定できる物などの写真や動画を，本人の許可なく撮影しない。またネットワーク上に投稿しない。

（投稿はできない設定としてありますが，ルールとして意識してください。）

②誹謗中傷や，その人が他人に知られたくないと感じている情報を，ネットワーク上に投稿しない。

（投稿はできない設定としてありますが，ルールとして意識してください。）

iPad使用のルール

- ③学習に不要な画像や動画を撮影，またはダウンロードなどして学校に持ち込まない。
- ④他人のiPadや周辺機器を，本人の許可なく触らない。
- ⑤iPadや周辺機器の貸し借りをしない。
- ⑥自分のパスワードを他人に教えない。
- ⑦他人のiPadの設定を変更しない。

iPad使用のルール

- ⑧歩きながらiPadを使用しない。
- ⑨授業・学級・部活動などでの使用は、担当の先生の指示に従う。
- ⑩学校では充電をしない。（自宅で充電して登校してください。）
- ⑪貼られているシールを剥がさない。
- ⑫iPadのセキュリティなどの設定を変更しない。



iPadの配付とオリエンテーション

iPadの配付とオリエンテーション

9月28日（月） iPadオリエンテーション

◆このガイドブックを使用

10月 5日（月） iPad配付・操作方法ガイダンス

※配付にあたり、iPadケースをご準備いただければ幸いです。（画面フィルムは貼った状態で配布します。） また、直ちに必要ということではありませんが、タッチペンの使用が望ましいです。どちらも種類は問いません。

10月19日（月） 情報モラル学習会

生徒・保護者用 iPad使用ガイドブック

令和2年9月初訂



銀河学院中・高等学校

Ginga Gakuin Junior and Senior High School